

## 7. 農山漁村交流の促進について

# 「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」活用事例及び効果イメージ



## 都市

- ・団塊の世代の大量退職
- ・心の豊かさの重視

- ・情報不足の解消
- ・人的ネットワーク不足の解消
- ・活用施設の不足の解消



## 農山漁村

- ・活力の低下
- ・暮らしやすさ、過ごしやすさ



### ・観光者等の一時的・短期的滞在

- ・年に1～3ヶ月程度の滞在
- ・平日は都会、休日は農山漁村

- ・移住、・UJターン
- ・既地域住民の安定

地域産物販売・提供施設

直販施設

廃校・廃屋等活用施設

クラインガルテン  
(滞在型市民農園)

防災安全施設  
(津波避難施設)



パート雇用の創出

農山漁家所得の向上

都市住民が休日滞在地域でボランティア

自家製の収穫物栽培による農業への関心

安全な地域づくり

## 定住



簡易排水施設

快適な生活環境づくり

## 交流

## 二地域間居住

UJターンの可能性

新たな需要の創出

漁村体験学習施設

自然環境活用施設  
(釣り施設)

森林浴歩道

地域資源活用起業支援施設  
(ダイビング施設)

電線地中化等により  
整備された町並み

CATV等の整備



都市と同様の社会基盤の下での生活・仕事  
都市への情報アクセス

漁船操縦者の公募

管理人の雇用

自然の魅力体感

インストラクターの雇用



木材加工実習施設



インターネットを活用した情報発信

後継者育成

## 地域活性化に資する基礎づくり(生産基盤及び施設の整備等)

農業生産施設(ハウス)

特用林産物生産施設

生産基盤整備

林内路網整備

船舶離発着施設(待合所)



# 子ども農山漁村交流プロジェクト

～120万人・自然の中での体験活動の推進～

※ 主な関連事業を記載。  
金額は平成20年度概算決定額

## 農林水産省

- 子どもたち1学年単位で受入が可能な地域づくりを全国的に拡大
  - ・モデル地域(40地域)を核とした受入地域の整備に向けた総合的な支援
  - ・受入地域情報等の情報提供・受入推進体制の整備等

【広域連携共生・対流等対策交付金(拡充)	973百万円の内数
【農山漁村地域力発掘支援モデル事業(新規)	1,110百万円
【賑わいある美しい農山漁村づくり推進事業(新規)	68百万円の内数
【農山漁村活性化プロジェクト支援交付金(拡充)	30,546百万円の内数

環境省

協力・支援

支援(モデル地区の整備支援、情報提供等)

## 農山漁村

支援  
(情報提供等)

### 1週間程度の宿泊体験

小学生約120万人を目標  
(約2万3千校で展開)とし、  
今後5年間で取組を推進

推進

全国推進協議会

都道府県推進協議会

活動推進に向けて  
基本方針等を検討

宿泊体験活動の  
送り側、受入側の  
連絡調整(モデル  
連携)

受入地域の整備  
の推進に向けた  
連携

## 小学校

支援  
(情報提供等)

支援(活動支援・  
情報提供等)

## 総務省

- 地域の活力を創造する観点等から、長期宿泊体験活動の推進に向けた取組に対して支援
  - ・受入地域のコミュニティ、市町村、都道府県等に対する支援(情報提供等)、気運醸成等
  - ・地方独自の取り組みへの積極的な支援

【都市・農山漁村の教育交流による地域活性化推進等事業(新規) 17百万円】

## 文部科学省

- 豊かな人間性や社会性の育成に向け、小学校等における長期宿泊体験活動の取組を推進
  - ・長期宿泊体験活動を実施する小学校等に対する支援(活動支援・情報提供等)
  - ・体験活動を推進するための課題等を検討

【豊かな体験活動推進事業のうち  
農山漁村におけるふるさと生活体験推進校(新規) 972百万円】

連携

